

令和3年10月

和歌山県の財政状況

市場公募債 I R 資料



Wakayama Prefecture

- 1. 和歌山県の概要**
- 2. これからの和歌山県**
- 3. 和歌山県の財政状況**
- 4. 市場公募債発行計画**

和歌山県の概要

1

和歌山県の概要



面積

4,725km²

人口 ※R2.10.1現在(令和2年国勢調査(県速報))

923千人

県内総生産(名目) ※H30県民経済計算

36,044億円

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

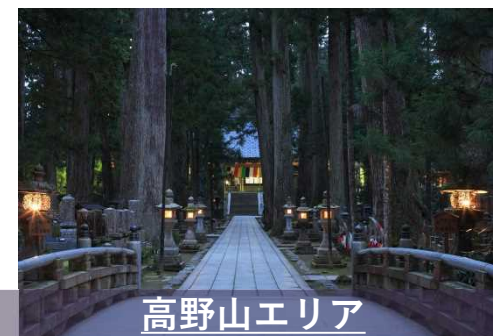
和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

- 和歌山県は、恵まれた風土を活かした観光資源が豊富です。
- 自然、文化、食など、それぞれのエリアの特性に応じた魅力があります。



和歌山市近郊エリア

大阪に近い和歌山市は、江戸時代の史跡や日本らしい名勝地を楽しめます。海の幸や和歌山グルメも人気です。



高野山エリア

真言宗の総本山「高野山」エリアは、豊かな自然と荘厳な寺院が共存する厳かな雰囲気が漂います。



有田・日高エリア

県央に位置して、海と山の恵みを受ける風光明媚な土地です。特産品のみかんやクエなどの食も満喫できます。



熊野エリア

大自然のパワーあふれる「世界遺産」と「熊野三山」を含み、歴史ある温泉も名物のひとつです。



白浜・串本エリア

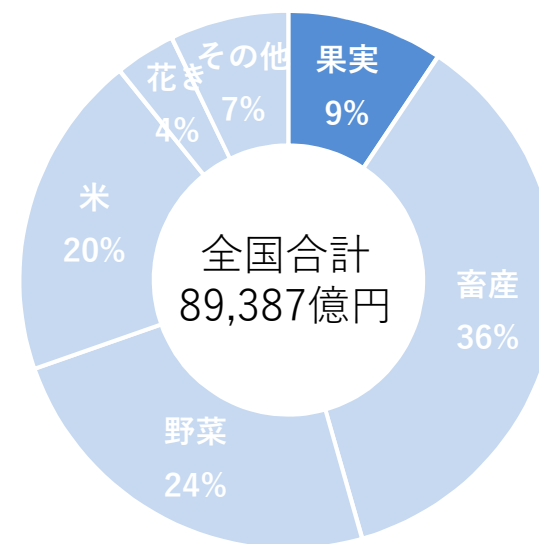
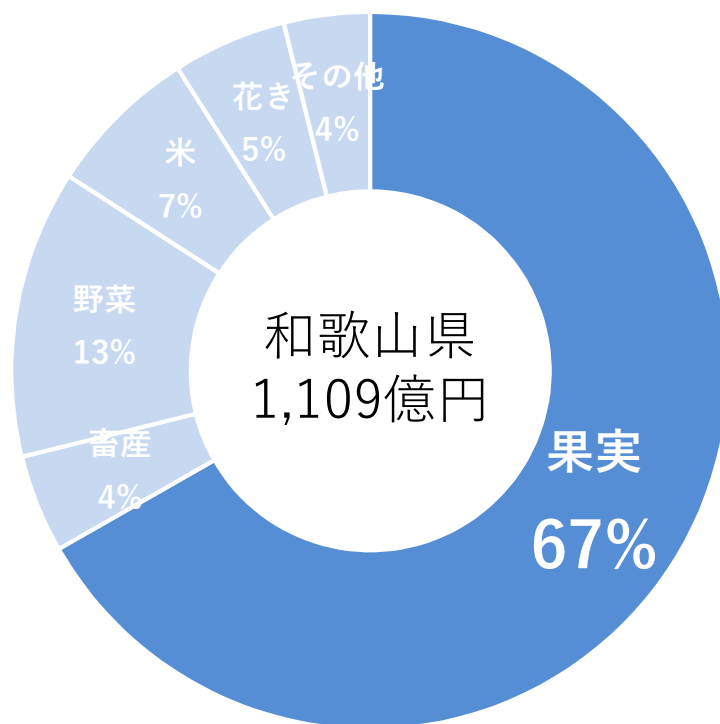
関西を代表するマリリゾートです。レジャーのほかに、太平洋の偉大さを感じる絶景スポットも楽しめます。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

和歌山県の魅力②～果樹王国わかやま～

- 本県では、恵まれた自然条件を活かした農林水産業が盛んです。
- 農業においては、果実の構成比が農業産出額の67%を占めており、全国に比べて特異な構成となっています。
- このため、和歌山県は「果樹王国」とも言われています。

農業産出額



※R元年生産農業所得統計

果樹収穫量の全国シェア 以下は全て**全国第1位**

みかん

21.8% (167,100 t)

※令和2年産作物統計

はっさく

70.4% (19,843 t)

※平成30年産特産果樹生産動態等調査

うめ

58.1% (41,300 t)

※令和2年産作物統計

さんしょう

58.3% (531 t)

※平成30年産特産果樹生産動態等調査

かき

21.0% (40,500 t)

※令和2年産作物統計

いちじく

18.4% (2,178 t)

※平成30年産特産果樹生産動態等調査

大齋原の桜と天の川（おおゆのはらのさくらとあまのがわ）

熊野本宮大社の旧社地・大齋原（おおゆのはら）。春には、日本一の大鳥居を桜が彩ります。その上を流れるのは天の川。1年のうち、わずか数日の共演です。



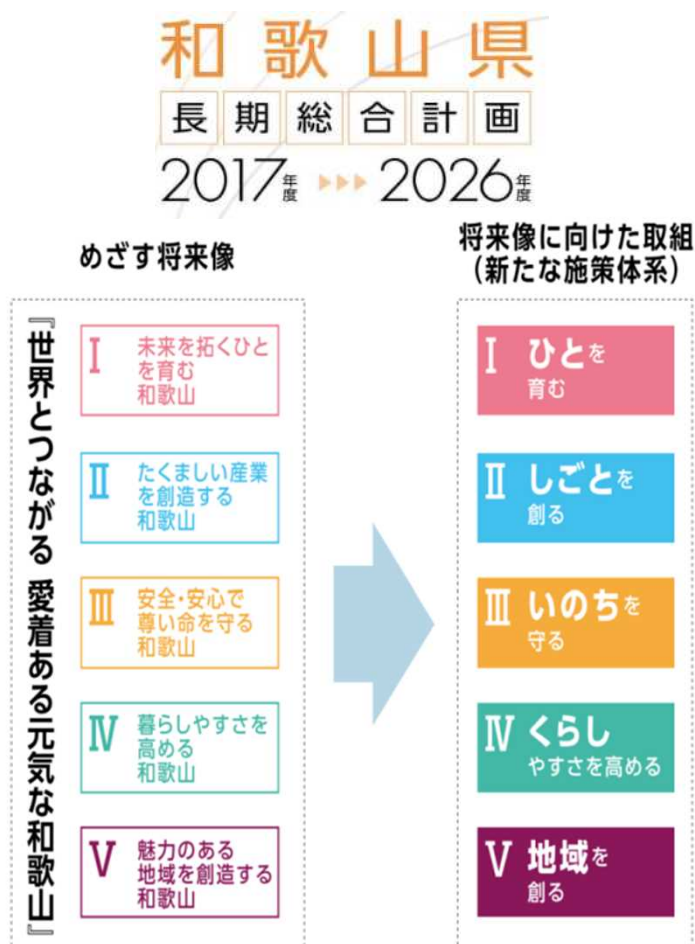
写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

これからの和歌山県

2

和歌山県の将来像

- 本県は、2017年に、10年後の未来を展望しためざす将来像と、その実現に向けて取り組む基本的な方向を定めた「和歌山県長期総合計画」を策定しました。
- 本計画がめざす将来像として、ひと、しごと、いのち、くらし、地域の5つの施策体系で将来像に向けた取組を進めています。



将来像に向けた令和3年度の取組

- 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、徹底した感染防止対策と経済活動の両立に取り組み、地域経済と雇用、県民の命と暮らしを守るための事業を実施します。
- さらに、コロナ後の新しい世界に対応した新たな取組に挑戦することで、「ウィズコロナ」時代を生き抜き、和歌山の力強い再生・発展を実現するための事業を実施します。

コロナ禍から経済とくらしを守り抜く

1. コロナ禍から経済と雇用を守る

中小企業等におけるコロナ危機からの脱却、県内産業のデジタル化、コロナ不況下における雇用対策、交通・運輸業支援、農林水産業支援、観光産業の振興に係る事業を実施

2. 誰もが安心できる暮らしを守る

コロナ禍における保健医療行政の強化、安心して出産・子育てできる環境の整備、コロナにも負けない健康づくりの推進に係る事業を実施

3. 安全で魅力ある地域を守る

地震・津波や風水害対策の着実な実行（P13）、災害時医療対策の強化、まちなかへの大学誘致に係る事業を実施

新しい世界への対応と挑戦

1. 新しい世界への挑戦

企業誘致戦略の推進、ワーケーションの取組を加速化、地方回帰の流れを捉まえた移住・定住大作戦の強化、デジタル和歌山の実現、オンライン教育、行政のデジタル化に係る事業を実施

2. 和歌山の未来を創る

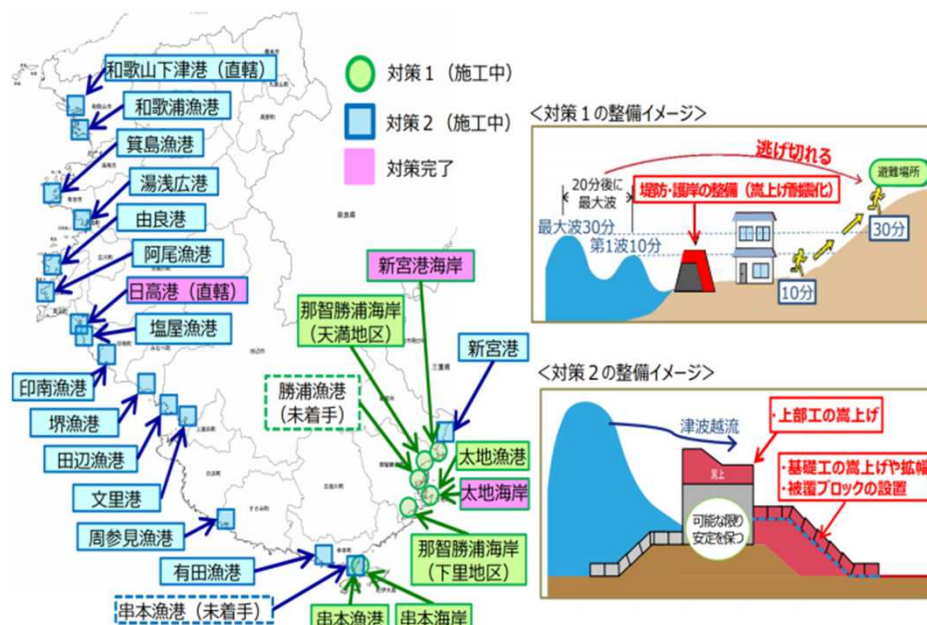
IR(統合型リゾート)の誘致実現（P14）、民間ロケット発射場周辺地域活性化（P15）、国文祭・障文祭・総文祭、和歌山県誕生150年記念、経済活動の基盤となる道路ネットワークの整備（P16）に係る事業を実施

取組事例のご紹介①～自然災害への備え～

■地震による津波に備え、河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の整備を推進するとともに、被災後のまちづくりを想定した復興計画の事前策定に取り組む沿岸市町を支援します。

津波から“逃げ切る”ための堤防等の整備

- 対策1** 津波避難困難地域を解消し、
犠牲者ゼロを目指す。
- 対策2** 地域経済の拠点となる施設を強化して、
早期の復旧復興につなげる。



津波災害復興計画の事前策定

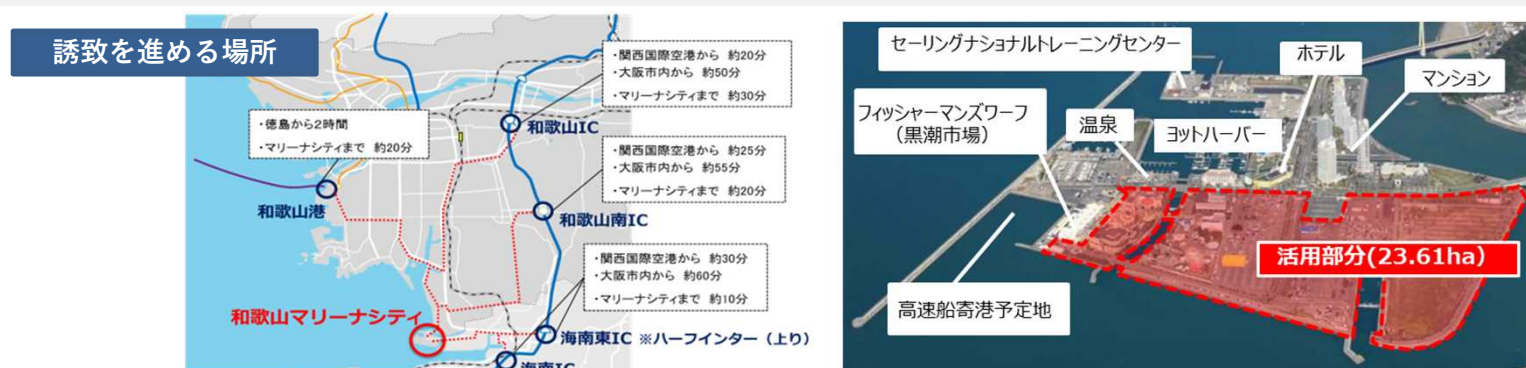
- 被災したまちや
地域の復旧・復興が遅れると
- 県民が再建する気力を喪失、企業活動の停止
 - 県内外への移転などにより地域経済が停滞、地域活力が喪失
- 被災を想定した復興計画・体制等の準備に着手することが必要
- 復興計画事前策定の手引きの策定
 - 復興計画事前策定支援本部の設置

津波被害を受ける沿岸市町の計画策定を支援

(策定済みの美浜町を除く18市町)

取組事例のご紹介②～統合型リゾートの誘致～

- 大きな経済波及効果や雇用創出効果が見込まれる統合型リゾートについて、コロナ収束後の県経済復興のためのエンジンとなるよう、社会的リスクを排除しつつ全力で誘致を推進します。
- 今後、県と選定した事業者が共同して区域整備計画を作成し、国への区域認定申請を行います。



選定した事業者からの提案の概要

開業予定時期：2027年秋頃

事業者：クレアベストニームベンチャーズ株式会社及びClairvest Group Inc.のコンソーシアム

事業者の概要：カナダ・トロントに本社を置くIR投資会社

北米を中心にカジノ業界へ投資し、成功を収めている。※カナダ、アメリカ、チリ、インド、イギリス等

経済波及効果等の試算

※初期投資額以外の数値は、開業後4年目（2030年）の数値を抜粋

※今後、区域整備計画の作成過程で変更の可能性があります。

来場者数

約**1,300万**人/年

経済波及効果
(運営等)

約**2,600億**円/年

初期投資額

約**4,700億**円

雇用創出効果
(運営等)

約**1.4万**人

取組事例のご紹介③～宇宙ビジネス～

- 今年度、日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」が串本町に完成し、ロケット初号機「カイロス」が打上げられる予定です。ロケット打上げにより、大きな経済波及効果が見込まれます。
- 中長期的に期待されている宇宙産業集積に向けた気運醸成や人材育成に向けた取組も行います。

『日本初』 民間ロケット発射場の誘致

事業内容：超小型衛星の「宇宙宅配便」事業

事業者：スペースワン(株)※

事業地：和歌山県串本町

※株主：キャノン電子(株)、(株)IHIエアロスペース、清水建設(株)、(株)日本政策投資銀行、(株)紀陽銀行



ロケット打ち上げのイメージ図

(写真提供：スペースワン(株))

今後の予定



経済波及効果は、**10年間で670億円**

取組事例のご紹介④ ～道路ネットワークの整備～

■企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進しています。

1 地域をつなぐ道路網の整備

①万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備

- ▶すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路
- ▶有田IC～南紀田辺IC間の4車線化
- ▶国道42号冷水拡幅、有田海南道路 など

②県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進

- ▶国道168号五條新宮道路（相賀高田工区、相須工区）
- ▶国道370号（美里2バイパス、美里4工区）
- ▶南港山東線（西浜3丁目～関戸1丁目） など

③都市内道路及び基本的な生活に不可欠な道路の整備推進

- ▶紀伊停車場田井ノ瀬線（南田井ノ瀬橋）、松島本渡線 など

④構想路線の具体化

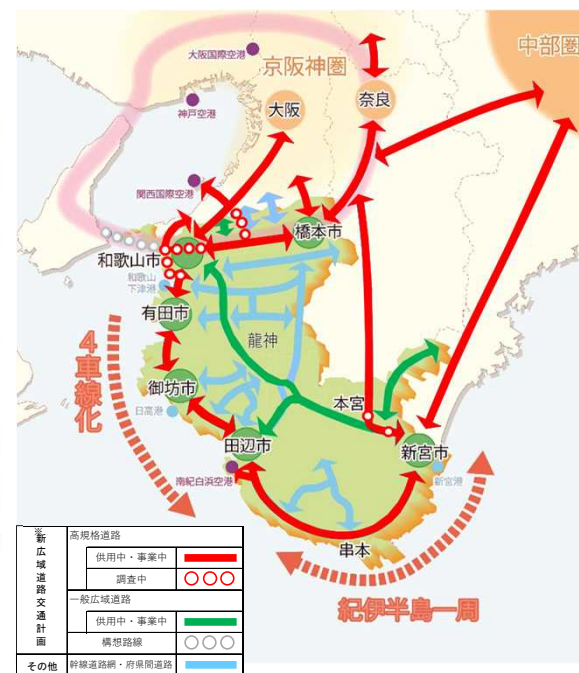
- ▶和歌山環状北道路、京奈和関空連絡道路



有田IC～南紀田辺IC間4車線化



南港山東線（西浜3丁目～関戸1丁目）



※近畿7県新広域道路交通計画(令和3年7月策定)

2 災害に備えた道路網の強靱化

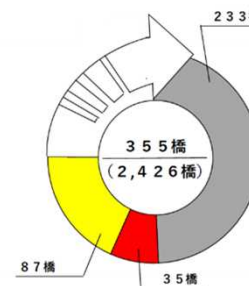
①緊急輸送道路等の通行確保

- ▶地震・風水害等の災害時に備えた橋梁耐震化や法面強化

②橋梁等の老朽化対策

- ▶定期点検に基づく機能維持のための老朽化対策

【橋梁の老朽化対策】



銅材の腐食
コンクリートの剥離
御坊由良線 由良港橋（由良町）

霧にかすむ那智大滝（きりにかすむなちおおたき）

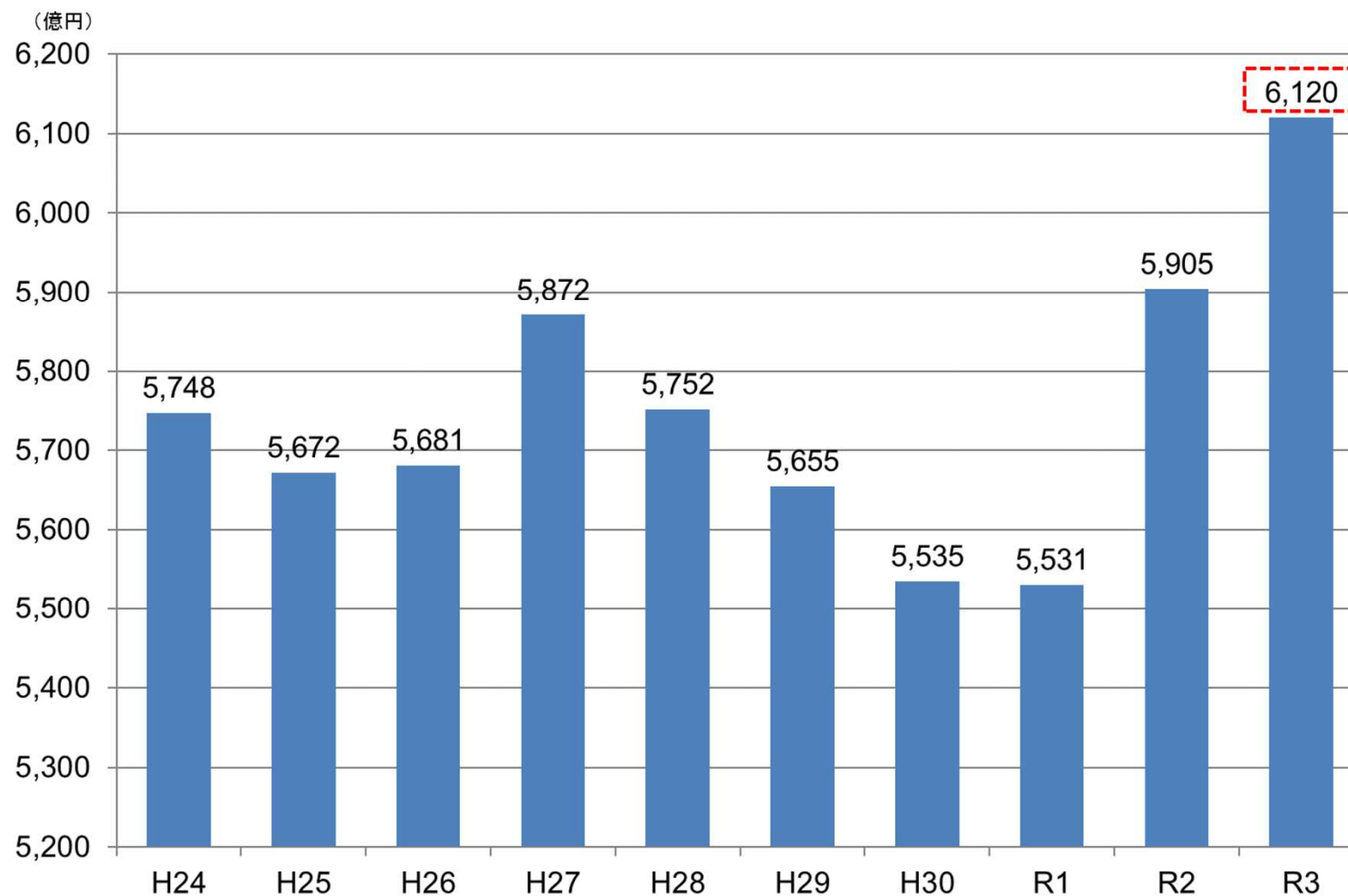
落差日本一の那智大滝と三重塔の遠望は那智山で一番の絶景。季節や時間、気象によってさまざまな表情を見せます。とりわけ霧が立ち込めた日は熊野らしい神秘的な光景に触れることができます。

和歌山県の財政状況

3

令和 3 年度当初予算の概要

- 令和 3 年度の一般会計予算の規模は、6,120億円（対前年度 + 216億円、+ 3.7%）
- 過去最大の予算規模となりました。



令和3年度当初予算（歳入）の概要

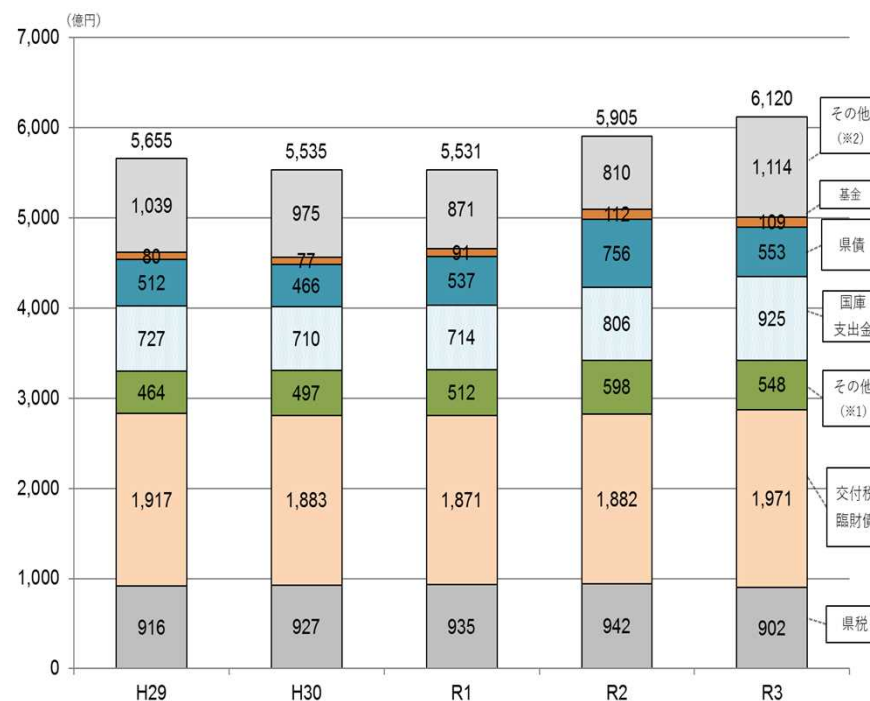
■新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化等により県税収入が減少する一方、実質的な地方交付税（地方交付税・臨時財政対策債）が増加しました。

		R2当初	R3当初	増減額	増減率
一般財源	県税	942億円	902億円	▲40億円	▲4.3%
	地方交付税	1,712億円	1,701億円	▲11億円	▲0.6%
	臨時財政対策債	170億円	270億円	+100億円	+58.8%
	その他（※1）	598億円	548億円	▲50億円	▲8.4%
	小計	3,422億円	3,420億円	▲1億円	▲0.0%
国庫支出金		806億円	925億円	+119億円	+14.7%
県債（臨時債除き）		756億円	553億円	▲203億円	▲26.9%
基金繰入金		112億円	109億円	▲3億円	▲2.9%
その他（※2）		810億円	1,114億円	+305億円	+37.6%
歳入合計		5,905億円	6,120億円	+216億円	+3.7%

※1：地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金

※2：交通安全対策交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など

項目別歳入の推移（当初予算ベース）



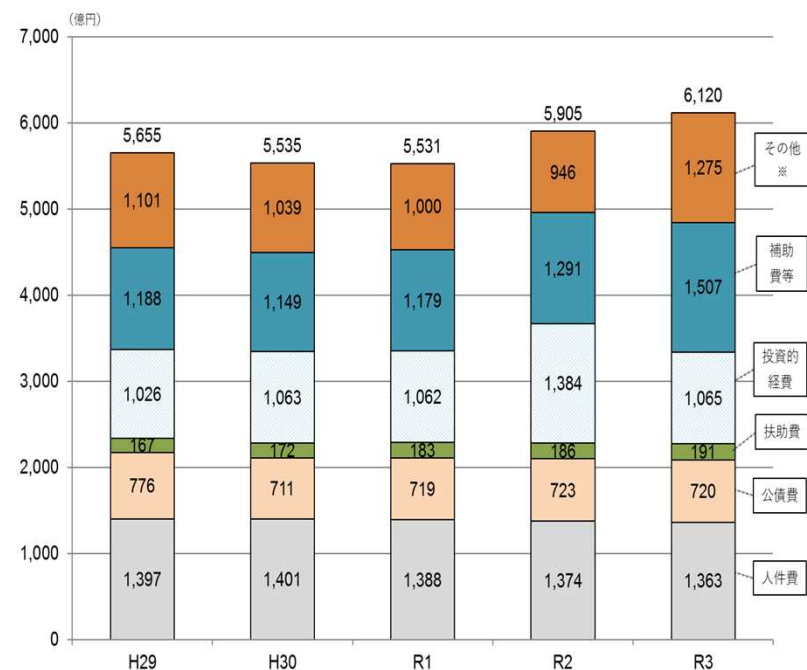
令和3年度当初予算（歳出）の概要

■新型コロナウイルス感染症対策予算として、544億円を計上したほか、新政策予算や社会保障関係経費を確保しました。

		R2当初	R3当初	増減額	増減率
義務的経費	人件費	1,374億円	1,363億円	▲11億円	▲0.8%
	公債費	723億円	720億円	▲3億円	▲0.4%
	扶助費	186億円	191億円	+4億円	+2.3%
	小計	2,284億円	2,274億円	▲10億円	▲0.4%
投資的経費		1,384億円	1,065億円	▲319億円	▲23.1%
補助費等		1,291億円	1,507億円	+216億円	+16.8%
その他（※）		946億円	1,275億円	+329億円	+34.7%
歳出合計		5,905億円	6,120億円	+216億円	+3.7%

※維持補修費、積立金、貸付金、繰出金など

性質別歳出の推移（当初予算ベース）



令和2年度普通会計決算の概要

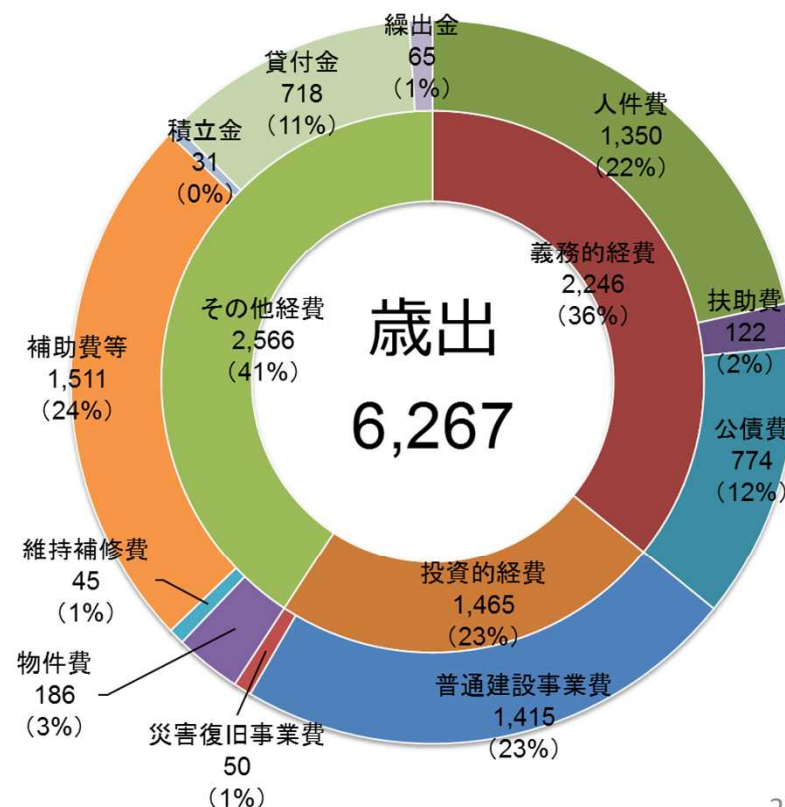
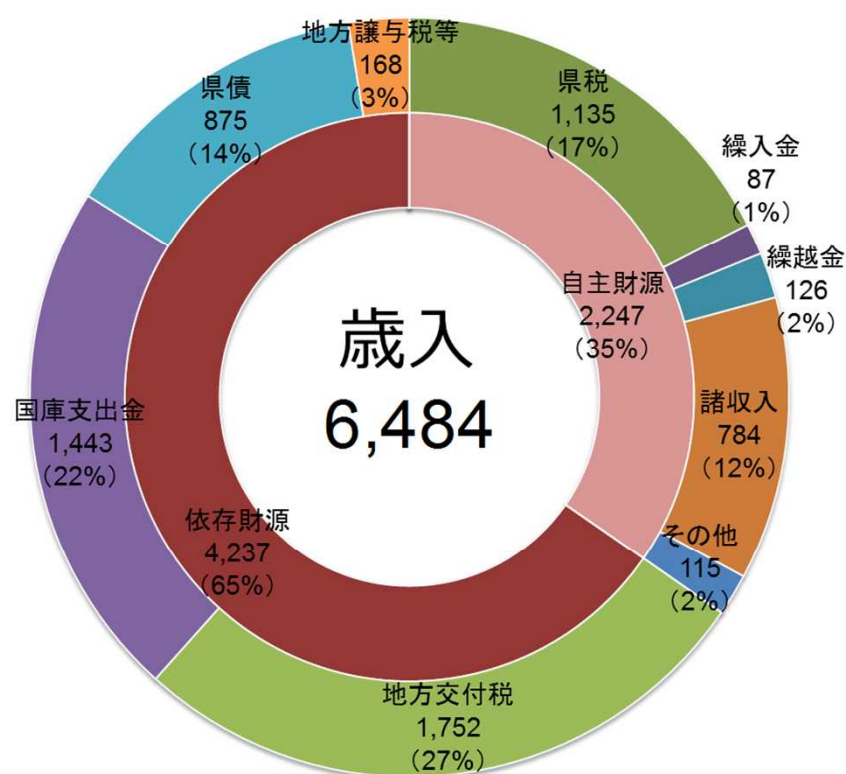
- 決算規模は、歳入・歳出ともに前年度と比べて増加しました。
- 実質収支・実質単年度収支はともに黒字となりました。

項目	令和元年度決算	令和2年度決算	増減
収 支 (億円)			
歳入総額	5,485	6,484	+999
歳出総額	5,359	6,267	+908
歳入歳出差引	126	217	+91
翌年度への繰越財源	59	78	+19
実質収支	67	139	+71
実質単年度収支	40	102	+62
残 高 (億円)			
県債残高【一般会計】	10,314	10,488	+174
うち、臨時財政対策債	3,728	3,671	▲ 57
うち、臨時財政対策債除き	6,587	6,817	+231
基金残高	725	671	▲ 53
うち、財政調整・減債基金	209	209	+0
指 標			
標準財政規模(億円)	2,937	2,987	+50
財政力指数	0.333	0.338	+0.005
経常収支比率 (%)	94.8	95.2	+0.4
健全化判断比率 (%)			
実質赤字比率	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—
実質公債費比率	7.5	7.6	+0.1
将来負担比率	203.6	204.5	+0.9

令和 2 年度普通会計決算の概要

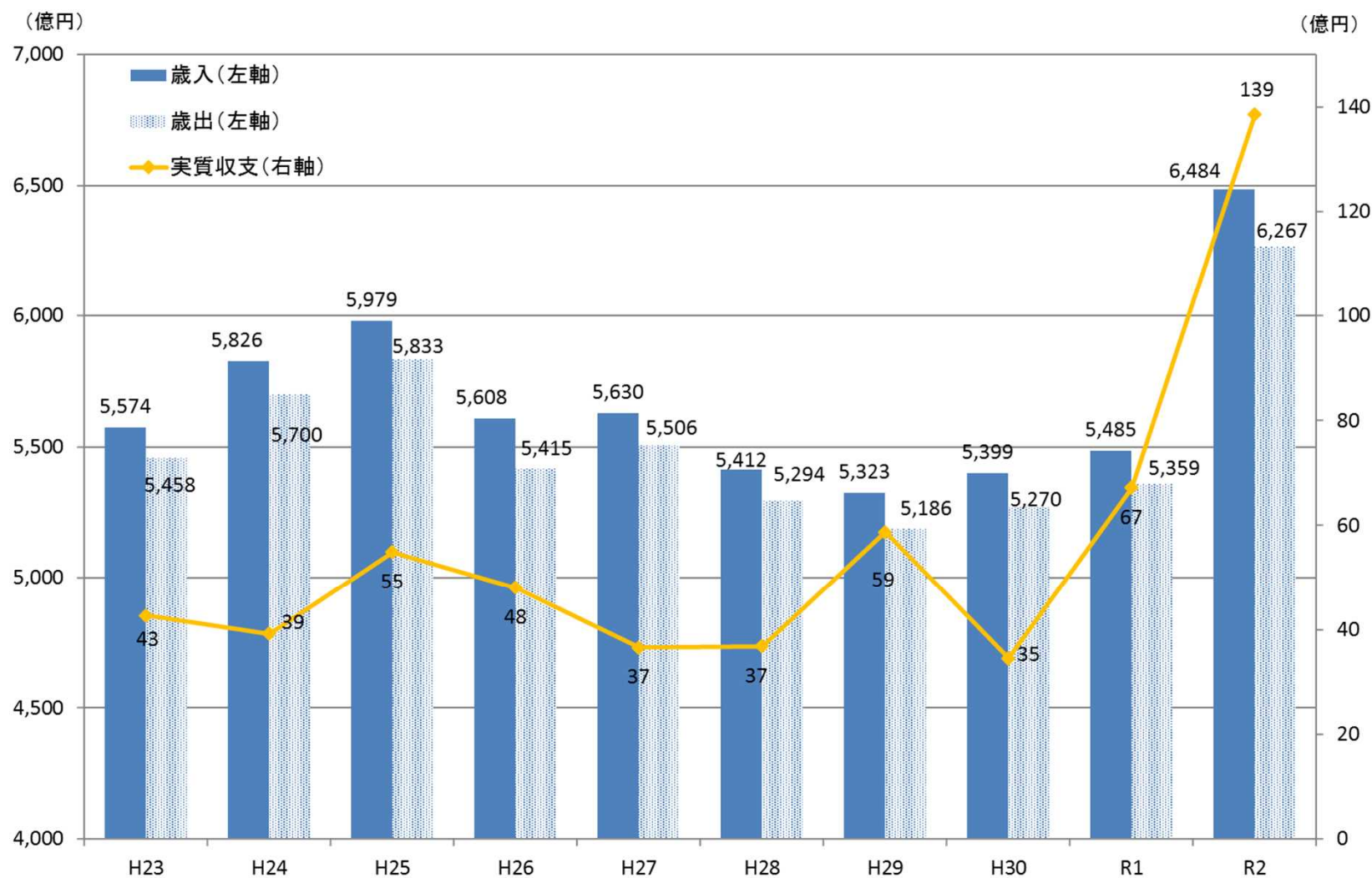
- 決算規模は、歳入6,484億円（対前年度+999億円）、歳出6,267億円（対前年度+908億円）
- 歳入は、国庫支出金や県債の増加等により、前年度と比べて999億円増加しました。
- また、歳出についても新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増加や和歌山県立医科大学薬学部設置に伴う投資的経費の増加等により、前年度と比べて908億円増加しました。

単位：億円



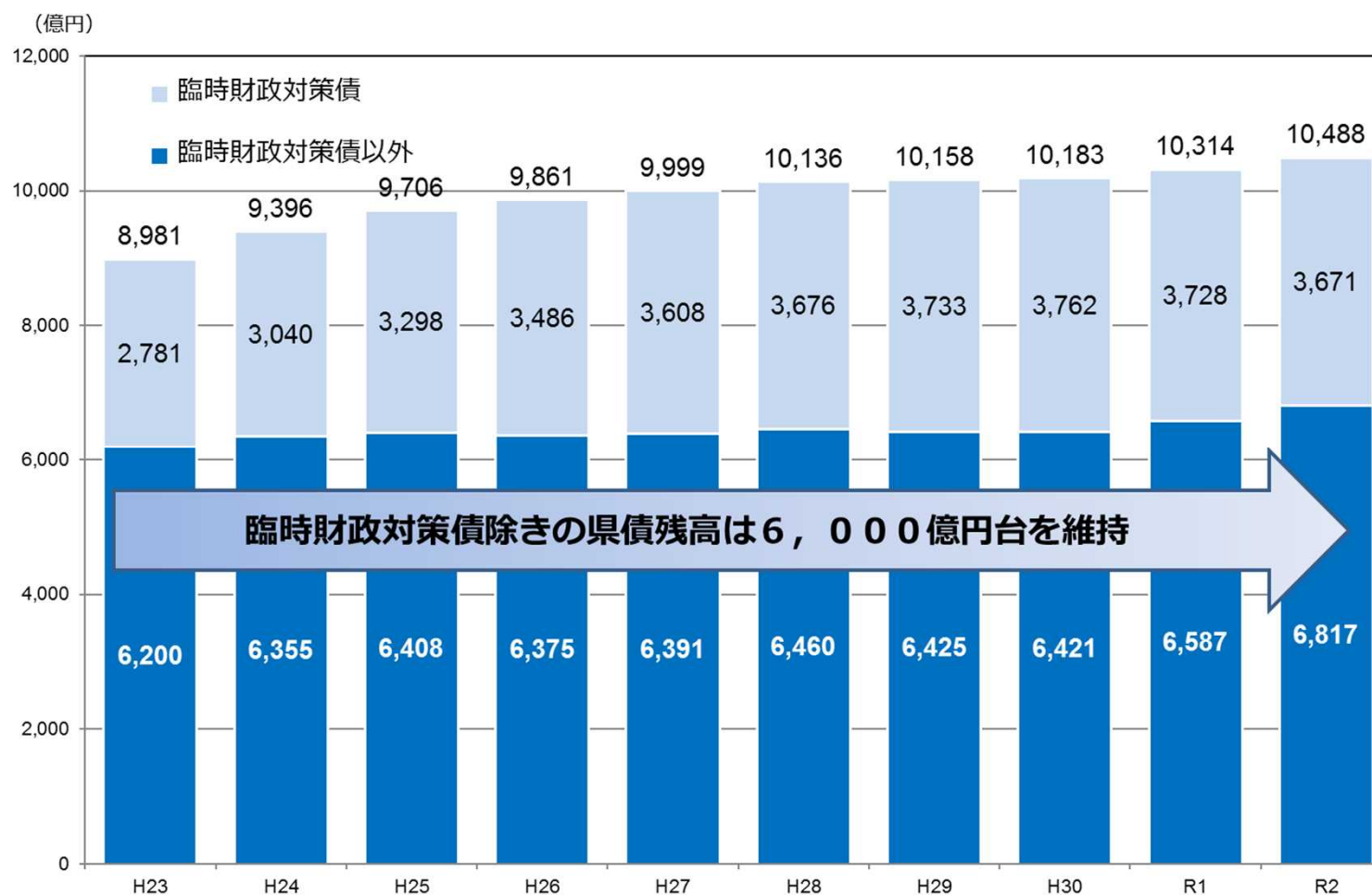
普通会計決算の推移

■令和2年度の実質収支は139億円、実質単年度収支は102億円の黒字となりました。



県債残高の推移（一般会計）

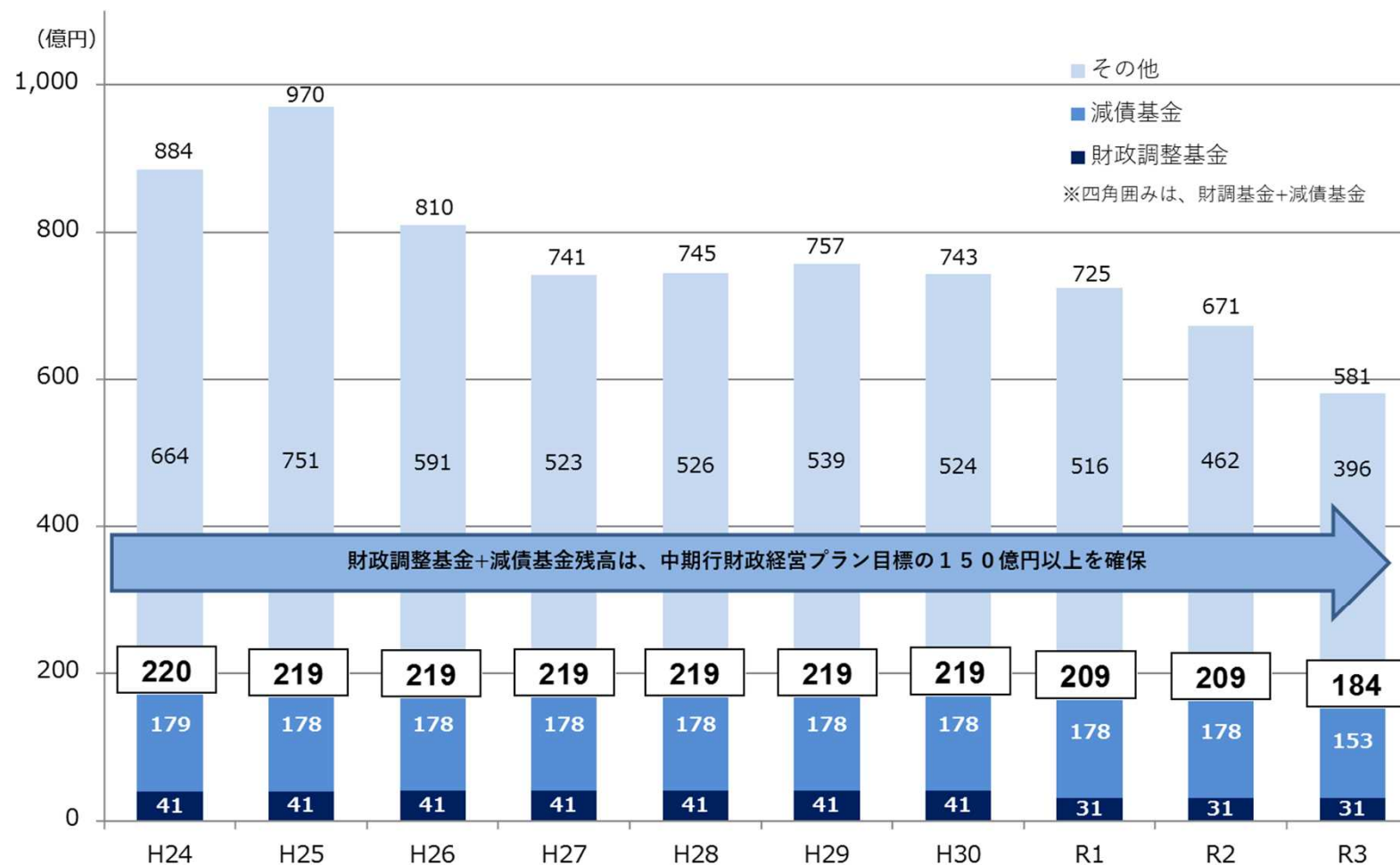
- 一般会計の臨時財政対策債除きの県債残高は、6,000億円台を維持しています。
- 令和2年度末残高（臨財債除き）は、6,817億円（対前年度+230億円）。防災・減災、国土強靱化のための緊急対策の推進等に伴う公共事業の増加等に伴い増加しました。



基金残高の推移

■財政調整基金と減債基金の残高合計は、令和2年度決算において209億円、令和3年度当初予算額においては、184億円となっています。

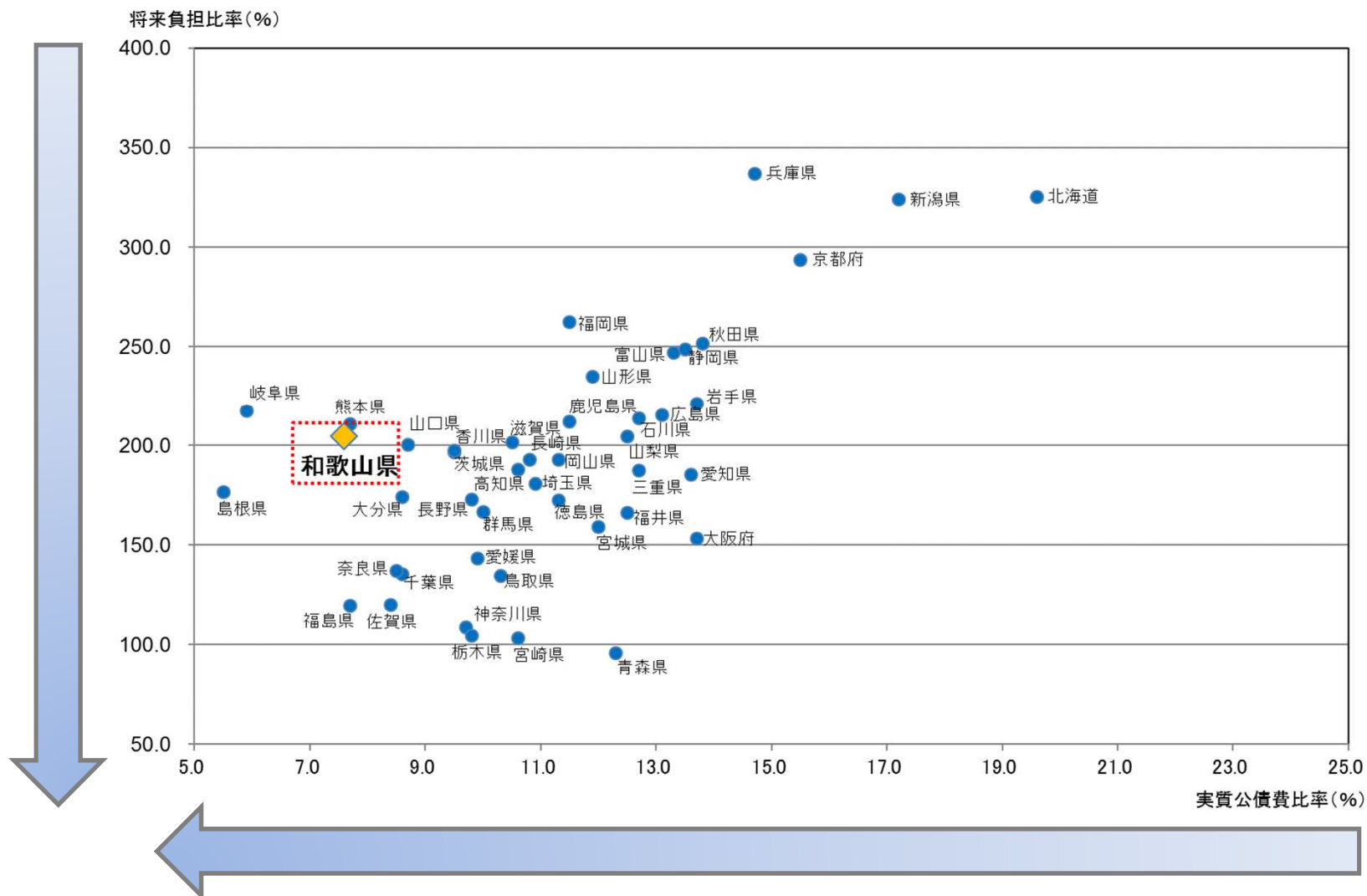
■中期行財政経営プラン（H29～R3）における残高目標150億円を上回る額を確保する見込みです。



※R3は当初予算額による見込み

令和2年度健全化判断比率の状況

- 令和2年度 実質公債費比率7.6%（全国5位） 将来負担比率：204.5%（全国31位）
- 全国的にも健全な財政状況を維持しています。



令和2年度公営企業会計（法適用）の決算概要

■健全化法上の資金不足比率について、資金不足は発生していません。

(百万円)

会計	概要	収益的収支			資本的収支			資金不足比率 (健全化法上)
		事業収益	事業費用	収支差引	資本収入	資本費用	収支差引(※)	
病院	こころの医療センター（昭和27年開設）の運営 ・所在地：有田川町 ・設置根拠：精神保健福祉法第19条の7 ・病床数：300床	2,253	2,030	222	450	458	▲7	－
工業用水道	紀の川及び有田川を水源として利用し、和歌山市、海南市、有田市の34事業者への工業用水を供給	737	584	152	2	427	▲425	－
土地造成	企業誘致推進のため、和歌山市（雑賀崎工業団地、西浜工業団地）、御坊市（日高港工業団地、御坊工業団地）にある企業用地の分譲を推進	391	312	79	0	307	▲307	－
流域下水道	紀の川流域の自然環境の保全や生活環境の改善を目的とし、紀の川流域下水道（伊都処理区）及び紀の川中流流域下水道（那賀処理区）において流域下水道事業を実施	7,159	7,196	▲37	1,452	1,453	▲1	－

※収益的収支、資本的収支の不足額は、内部留保資金等で補てんしています。

資金不足は発生
していない。

令和3年度補正予算の状況（9月補正時点）

- 令和3年度補正予算では、9月補正予算までに395億円の増額補正を行い、うち新型コロナウイルス感染症対応として、281億円を増額補正しています。
- これらの財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国庫支出金を活用しており、財政調整基金の取崩しは2億円に留まっています。
- 財政調整基金＋減債基金の残高合計は、令和3年度末で182億円を確保できる見込みです。

（億円）

令和3年補正予算	4月補正	4月専決	5月専決	6月補正	9月補正	合計
補正額（歳出）	20	30	30	117	198	395
うち新型コロナウイルス感染症対応	20	30	30	115	85	281
補正額（歳入）	20	30	30	117	198	395
国庫支出金 （コロナ臨時交付金含む）	20	30	30	115	148	343
地方交付税	-	-	-	-	6	6
その他	-	-	-	0	44	44
財政調整基金取崩し	-	-	-	2	-	2

市場公募債発行計画

4

市場公募債の発行計画

- 令和3年度は、100億円の市場公募債を発行する予定です。
- 来年度以降も、年1回の発行を視野に継続的に発行していく予定です。

発行額 100億円

年 限 10年（満期一括償還）

条件決定日 令和3年11月10日（水）

発行日 令和3年11月30日（火）

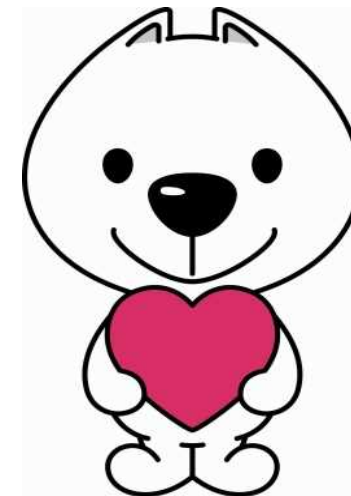
令和3年度シンジケート団構成

金融機関名		シェア（%）	幹事
銀行団	株式会社紀陽銀行	23.0	代表幹事
	株式会社みずほ銀行	22.0	副幹事
	きのくに信用金庫	3.0	
	株式会社三井住友銀行	1.0	
	株式会社三菱UFJ銀行	1.0	
		50.0	
証券団	野村證券株式会社	9.0	証券幹事
	SMBC日興証券株式会社	9.0	
	大和証券株式会社	9.0	
	みずほ証券株式会社	9.0	
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	9.0	
	岡三証券株式会社	2.0	
	東海東京証券株式会社	2.0	
	岩井コスモ証券株式会社	1.0	
小 計		50.0	
合 計		100.0	

問い合わせ先

和歌山県 総務部 総務管理局 財政課 企画調整班
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

電 話 : 073-441-2161
F A X : 073-422-8384
E-mail : e0104001@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

財政・県債に関する情報

和歌山県ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010400/index.html>

【MEMO】

